



古石

後援会だより

URL: http://古石.com/

発行令和2年8月 第3298号
古石ひでさと後援会事務局
岩見沢市橋向南1条1丁目
TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

全国世論調査では経済より健康が優先84%



お盆帰省閑散

お盆休みの帰省シーズンが8日、始まった。都市部で新型コロナウイルスの感染が拡大する中、例年なら帰省客や観光客でにぎわう道内の駅や空港に大きな混雑は見られず、静かな「ラッシュ」に、感染対策に迷いながら移動を決めた人の姿が目立った。

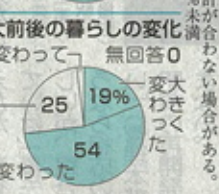
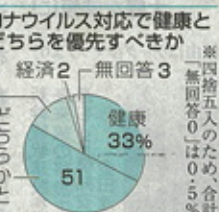
コロナ禍用心駅も空港も

新千歳空港の国内線ターミナルビルでは、相次ぐ到着客の波もすくなく取り、例年の混雑は見られなかった。一人旅や礼文島に行くという川崎市の会社員女性(31)は「帰省客が来ないと営業できないなと思ってしまっ

「経済より健康優先」84%

全国世論調査 家計「苦しく」36%

本社加盟の日本世論調査会による全国郵送世論調査で、新型コロナウイルス感染拡大を受けた一連の取り組みは「どちらかといえば」を合わせて「変わった」が72%を占めた。変わった内容(三つまで回答)は多い順に「健康・衛生に対する取り組み」71%、「自宅で過ごす」80%だった。



新型コロナウイルス対応で健康と経済のどちらを優先すべきか。健康33%、経済2%、無回答3%。感染拡大前後の暮らしの変化。まったく変わってない25%、大きく変わった19%、小さく変わった54%、ある程度変わった5%。

クルーズ船ゼロ 函館に荒波

「クルーズ船の目的にあるクルーズ客船は、例年なら観光客が訪れる。国内の観光客の姿でにぎわう。今年も同様だが、今年度は9月、観光客の受け入れを可能にする事が進み、市も2022年の利用開始を目指し、道内のクルーズ船用旅客ターミナル建設を予定しているが、市幹部の顔色は曇っている。ターミナルが完成するまでにはコロナが収まるというのだが...

コロナ禍寄港めど立たず

函館港のクルーズ船寄港回数は16年度にそれまで道内一位だった小樽港を抜いて、以降はトップの座を守っている。19年度に過去最高の47回を記録し、本年度も更新する見込みだ。それが飛ぶように見込まれていた。それが飛ぶ見込みはなくなった。過去最大級のMSCヘリシマ(17万1500トン)などのキャンセルが続いた。



クルーズ船「アムステルダム」(地元函館)

市幹部「回復に数年」

函館市は7月上旬まで新型コロナウイルス対策として3度にわたって計320億円規模の予算を組んだが、クルーズ船の寄港に関する事業は盛り込んでいない。世界各地でコロナ感染が拡大しており、市幹部は「外国人が入国できない。来年以上、今できることはない」と、以降の一手を考慮するしかない」と話す。

誘致事業盛らず

函館港へのクルーズ船寄港時の歓迎活動をする市民団体「カムカムの会」も、今年も活動の準備が立っていない。メンバーの河野裕美さん(40)は、クルーズ船の寄港が再び本格化し、函館港が観光がにぎわう日を待ち望んでいる。「これまで、ハクやハイタッチで出迎えてきた。再開後は世界中からの乗客を心にかけて歓迎したい」と話す。

調査の方法「層化2段階無作為抽出を施した有効回答は2059。回収率は68.6%で、回答者の内訳は男性49.7%、女性50.3%。東日本大震災の被災地のうちの福島県について一部地域を調査対象から除いた。日本世論調査会・共同通信社0。記入不備や、対象者以外の人が成している世論調査の全国組織。代理回答したと明記されたものなど

「人口減に歯止めを」柴田氏が事務所開き 柴田氏「何とか人口減少に歯止めをかけた」と支援を呼びかけた。柴田氏は支持者約50人に「1948年に4万6千人いた人口が6月末で30万7500人と述べ、道内市町村で最高の高齢化率52%超を考慮したまちづくりへの決意を示し、「38年間の行政ノウハウを生かし、七つの政策を「歩みすすめる」と強調した。(森田彰)